

生理で学校に行けなくなる女の子の教育環境改善事業（ウガンダ共和国）



-生理が原因で学校を中退...?!-

ウガンダをはじめとした途上国では、子どもたちが様々な原因で学校を中退してしまうという問題があります。授業料を払えない、学校が家から遠いなど、理由は様々です。その中でも、実は生理が原因で女子生徒が中退してしまうという問題があります。GBNは、NPO法人設立前に「[生理用品配布事業](#)」を実施しました。貧困のため生理用ナプキンを購入できず、手元にある古着など不衛生なものを代用することによる感染、洋服などに漏れてしまったところを見た男子生徒にからかわれる等、生理が原因で学校を休学、中退してしまう女子生徒がたくさんいるという事実を知ったからです。

そこで、1年間洗って使える布ナプキンを配布し、それが女子生徒の就学状況の改善にどれほどの効果を与えるか測るべく、調査を行いました。その結果、布ナプキン配布後の女子生徒の学校の出席率、成績などの向上が見られ、中退した女子生徒も復学することが出来たのです。生理期間中に学校を休むと、1か月に長くて1週間、1学期の期間中に合計3週間近く休むことになり、学校の出席率や成績に大きく影響します。その結果、学校を中退してしまい、学校を出ていないことにより十分な収入を得られる職業に就く機会も逃してしまいます。

また、男女ともに生理に関する正しい知識、衛生・性教育の不足、ジェンダー意識の低さも大きな原因であることが分かりました。

-GBNでの現在の活動-

前に行った「生理用品配布事業」の結果をもとに、GBNでは今後もこの問題に取り組みたいと考えています。今回はウガンダのムベンデ県にある [SORAK Development Agency](#) という現地 NGO と協働し、生理による女子生徒の中退防止を目標に、布ナプキンの作成指導、衛生・性教育、ジェンダー啓発活動を実施し、どのような効果が得られるかを測るインパクト調査を実施します。

上記の活動の効果が見いだせれば、布ナプキン作成トレーニングの拡充、生理に対する正しい知識、衛生・性教育の普及、ジェンダー意識の啓発などのさらなる効果的なサポートを実施し、女子生徒の就学率向上に大きな役割を果たすことが出来ると考えています。

ウガンダの女の子たちが、生理が原因で学校を中退してしまうことがなくなるよう、より多くの皆様のサポートを頂けると幸いです！

寄付する